

| | | | | | |
|--|---|--------------------|--|--------|-----|
| 授業科目名 | 子育て支援 | | 科目コード | 204032 | |
| 開講クラス | こども未来科 | コース | 保育士・幼稚園教諭 | 学 年 | 2 年 |
| 担当教員 | 非常勤講師 | | 実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) | | |
| | 実務経験内容 社会的養護施設の第三者評価調査員に 2 年従事した経験をもとに、子育ての問題等について関心を持たせる授業を行う。 ・近畿大学九州短期大学通信教育部非常勤講師 | | | | |
| 開講時期 | <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 通年 ・ 特別講義 ・ その他 | | 授業コマ数 | 15 時間 | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須 | | 単 位 数 | 1 単位 | |
| 使 用 テキスト 1 | 書 名 | 社会的養護 I 新・基本保育シリーズ | | | |
| | 著 者 | 児童育成協会・監・相澤仁・林浩康 編 | | | |
| | 出版社 | 中央法規出版 | | | |
| 使 用 テキスト 2 | 書 名 | よくわかる社会的養護内容 第三版 | | | |
| | 著 者 | 小木曾宏・宮本秀樹・鈴木崇之 編 | | | |
| | 出版社 | ミネルヴァ書房 | | | |
| 参考図書 | | | | | |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 () | | | | |
| <授業の目的・目標> 将来において保育士を目指す学生にとって必要とされる子育て支援・相談援助活動(社会福祉相談援助技術)の基礎を習得し、援助展開における援助関係形成、援助過程や各技術を効果的に活用するための理論と方法を身に付けることを目標とする。 | | | | | |
| <授業の概要・授業方針> 事例を通して子育て支援・社会的援助活動(社会的援助技術)の実際について、グループワークやロールプレーで実践し、各々の立場での様々な気持ちを実感しながら子育て問題を検証する。 | | | | | |
| <成績基準・評価基準> ・成績基準 優：80 点以上、良：70 点以上、可：60 点以上、不可：59 点以下 ・成績評価 1.授業における発言を含む授業態度 30% 2.例：レポート・課題 70% | | | | | |
| <使用問題集・注意事項> | | | | | |
| <授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他> | | | | | |

| 授業科目名 | | 子育て支援 |
|-------|--------------------------------|-------|
| 回 | 授 業 内 容 | 備 考 |
| 1 | 子どもを巡る経済・社会状況① | |
| 2 | 子どもを巡る経済・社会状況② | |
| 3 | 子育て支援と行政 | |
| 4 | 子育て支援と地域社会 | |
| 5 | 子ども・保護者と保育士 | |
| 6 | 関係機関・専門職との連携・協力・協同 | |
| 7 | 社会資源の活用・利用方法 | |
| 8 | 障がいのある子ども及びその家庭に対する支援 | |
| 9 | 特別な配慮を要する子ども及びその家庭に対する支援 | |
| 10 | 子ども虐待の予防と対応① | |
| 11 | 子ども虐待の予防と対応② | |
| 12 | 要保護児童等の家庭に対する支援 | |
| 13 | 多様な支援ニーズを抱える子育て家庭の理解 | |
| 14 | まとめ | |
| 15 | 理解度の確認 子育て支援の問題点を指摘し、対策案を発表 | |